



2016.1.15

マッスルスーツ10機を導入

勝田産業



約30kgのピールケースをマッスルスーツを着用して持ち上げる

や施工現場で

のパネル運搬

の形状のもの

を開発、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

を開放、その

現場での重量物持ち上げ補助にロボット活用

勝田産業(東京都昭島市、勝田優社長)は、重量物の工場内での移動や施工現場での作業を軽減するため介護用ロボットの「マッスルスーツ」10機を導入したことを明らかにした。東京理科大学小林宏研究室発のベンチャー企業であるイノフィス(東京都、藤本隆社長)と共同で建設作業用への開発を進めていく。

受け、建設系や木材系での活用に向けイノフィスと共同で開発を進めていく。同社では木造住宅用パネルと集合住宅向けの内装パネルの双方へ営業を強化していく方針。飯能第一工場にフレッシュとパネルの自動化ラインの設置も進める計画で、受注増への対応を進めていく方針だ。

勝田産業は木造住宅の内装仕切りパネルの用パネルや集合住宅NWPS工法では4種類のパネルを製作する会社で、集合住宅用施工がほぼカバーできる形状のものを開発、その合理性から注目を集めている。こうしたパネルを製作する飯能工場にイノフィスのマッスルスーツ10機を導入し、工場内でのパネル運搬や施工現場でのパネルの建て起こしなど、重量物を持ち上げる作業を行う時にこのスーツを使う。本来は介護現場で抱き起こしなどの負担を軽減するために開発された装着型筋力補助装置。コンプレッサーによる圧縮空気で人工筋肉を収縮させて重量物の持ち上げを補助する。工場や施工現場での作業員・職人不足に対し作業を軽減できるようにするのがねらい。

経済産業省の補助を